

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 7 月 29 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (7/29 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	28.7	3.9 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.3 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	36.9	6.35 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.04 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.3 m ³ /h	34.8	0.23 kPa g	A系： 0.06 Vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.05 Vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (7/29 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	30.0
2号機	循環冷却システム	運転中	27.0
3号機	循環冷却システム	運転中	26.5
4号機	循環冷却システム	運転中	27.0

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
1号機	1号機 タービン建屋	1号機廃棄物処理建屋	7/28 17:26 ~ 7/29 9:30 移送実施
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	7/22 9:50 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	6/16 14:42 ~ 移送実施中

・4号機使用済燃料プールから共用プールへの燃料移動作業において発生する構内用輸送容器(キャスク)内包水(4号機使用済燃料プール水)および構内用輸送容器(キャスク)内洗浄水については、沈降分離処理し、共用プール低電導度廃液受タンクで貯水しているが、H26/7/29 10:40~11:13 にかけて共用プール低電導度廃液受タンクから集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)への移送を実施。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (7/29 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中*1	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

- ・H26/1/29 ~ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。
 - 4/2 ~ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。
 - 4/28 ~ 4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、凍結管全17本の凍結運転を開始。今後、凍結の壁を造成していく予定であり、凍結状況については、測温管にて確認していく。
 - 7/28 ~ 2号機海水配管トレンチ立坑Aの止水壁造成に向けた追加対策として、滞留水の冷却を目的にトレンチ内へ氷・ドライアイスの投入をすることとしているが、7/24、25に実施した試験投入の結果を踏まえ、7/28より氷の本格投入を開始。ドライアイスについては、状況を見極めたうえで投入を判断する予定。
- ・H26/3/14 13:35 ~ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/6/2 ~ 凍土遮水壁工事を開始。
- ・H26/7/29 ~ 5号機原子炉建屋5階にある2箇所の燃料プール冷却浄化系の弁ボックス内の水溜まりが発見されたことを受け、その発生原因の調査を行うため、5号機では7/29、30に、また6号機では7/30、31に原子炉建屋オペレーティングフロアに設置されている類似箇所の調査を行う。
- ・H26/7/29 13:15 頃 設備パトロールを実施していた当社社員が警報付ポケット線量計(APD)を装着していなかったことがわかった。なお、ガラスバッジは装着しており、個人線量の測定への影響はないと考えている。

[地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1 ~ 12 のサンプリングを継続実施中。

[H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

- < H4エリア周辺のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < H6エリア周辺のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況]

- < 地下水観測孔サンプリング実績 >
 - ・地下水観測孔 No.1-12 および地下水観測孔 No.1-16 について、7/28 に採取した水のセシウム 134 およびセシウム 137 の分析値が、前回値と比較して高い値で検出された。地下水観測孔 No.1-16 については、過去最高値となっている。当該観測孔については、7/30 に再度試料を採取し、傾向を監視していく。
 - < 地下水観測孔 No.1-12 の測定結果: 7/28 採取分 >
 - ・セシウム 134: 44 Bq/L (前回分析値(7/24 採取): 2.8 Bq/L)
 - ・セシウム 137: 130 Bq/L (前回分析値(7/24 採取): 8.1 Bq/L)
 - < 参考: 過去最高値 >
 - ・セシウム 134: 74 Bq/L (H25/10/21 採取分)
 - ・セシウム 137: 170 Bq/L (H25/10/21 採取分)
 - < 地下水観測孔 No.1-16 の測定結果: 7/28 採取分 >
 - ・セシウム 134: 30 Bq/L (前回分析値(7/24 採取): 検出限界値(1.7 Bq/L)未満)
 - ・セシウム 137: 86 Bq/L (前回分析値(7/24 採取): 1.3 Bq/L)
 - < 参考: 過去最高値 >
 - ・セシウム 134: 3.1 Bq/L (H25/12/13 採取分)
 - ・セシウム 137: 6.5 Bq/L (H26/6/26 採取分)
- ・その他のサンプリングについては、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

- < 地下貯水槽サンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。